



宮崎日日新聞(2018年7月30日付)に掲載されました!

長野県で8月7日に開幕します第42回全国高等学校総合文化祭(高総文祭)のマーチングバンド・バトントワリング部門に県代表として出場します。
本校吹奏楽・マーチングバンド部が宮崎日日新聞に掲載されました。

⑮15年以上取り組み、一番盛り上がるという「宝島」の場面
(左)息を合わせハーモニーとパフォーマンスを磨く宮崎学園マーチングバンド部のメンバー



心身鍛えて美しい演技

マーチングバンド

行進や隊形の確認などの練習を重ね、パフォーマン스에 磨きをかけている。マーチングリーダーの河野美晴さん(17)は「同様に「体力、精神面を鍛え、美しくそとえる演技を目指す」と力を込めた。

「話す。美しさに徹底してこだわりたい」と話す。
今年(17)は「全国のチームと比べると少人数だが、元気いっぱい演奏する。今年(17)はさらにハーモニーの美しさに徹底してこだわりたい」と話す。

30分四方のフロアで、次々と隊形を変えながら迫力あるサウンドとパフォーマンスを披露するマーチングバンド・バトントワリング部門。県内屈指の伝統校・宮崎学園マーチングバンド部(佐藤一哉顧問、40人)が出演する。
演技名は「ひとすじつらぬく星となれ」。10分間の制限時間で「カンタベリー・コラール」など4曲を披露する。同部が15年以上演奏しつづけている「宝島」で演技はクライマックスを迎え、隊列前方でポンポンを手にした部員の動きもいつそう華やかになる。部長の福山智香さん(17)は「全国のチームと比べると少人数だが、元気いっぱい演奏する。今年(17)はさらにハーモニーの美しさに徹底してこだわりたい」と話す。



「宮崎日日新聞社 提供」

「高校生最大の文化・芸術の祭典」高総文祭!
吹奏楽・マーチングバンド部の皆さん、頑張ってください!!